

広島大学附属東雲中学校 入学式

式 辞

新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご入学について、心よりお祝い申し上げます。新入生の皆さんは、これから始まる中学校生活への抱負を心に抱き、期待を膨らませ、いま、この場に臨んでいることと思います。

今日から皆さんの学びの場は、この附属東雲中学校です。この学びの場が、皆さんにとって、新しい仲間との出会いの場であり、新たな成長の舞台となります。一年生一組、二組、三組の皆さんで、力を合わせて、また、一年生から三年生までの異学年で構成される様々な活動や学校行事を通して、学び合い、高め合う生活を送っていきましょう。本校には、アメリカ合衆国に二校、インドネシア共和国に一校、合わせて、海外に、三校の姉妹校があり、八月には、アメリカ合衆国の姉妹校への渡航を計画しています。皆さんには、海外の姉妹校との交流などを通して、世界にも学びを広げ、広島で学び生活する中学生として、世界平和の懸け橋になってほしいと祈念しています。

附属東雲中学校は、間もなく創立八十年を迎える歴史と伝統のある学校です。これは戦後に誕生した新制・広島大学よりも長い歴史をもち、附属東雲小学校も含めた附属東雲は広島大学の起源の一つにもなっています。このような経緯をもつ本校には、校則はなく、「東雲憲章」があります。この東雲憲章は、いまから約四十年前（一九八六年）に、附属東雲中学校の生徒たち自身の手で制定され、その後、今日まで大切に受け継がれてきています。東雲憲章には三つの指針があります。一つ「自他の生命・人権を尊重し、心身ともに健康な生活を送る」、一つ「人間・自然・環境・時間を大切にし、愛のある生活を送る」、一つ「物事に真剣に取り組み、ふり返ることによって、みんなが、共に高め合う生活を送る」です。私たちが健全な人間性のもとで、豊かな社会生活を進めるには、規則や約束事が必要ですが、附属東雲中学校には、何者かが制定した校則ではなく、生徒自身で制定された東雲憲章があるのみです。新入生の皆さんには、自らの良心と良識を磨き合いながら、この東雲憲章を、これから始まる日々の学校生活の中で、具体化し、実践してほしいと期待しています。

もう一つ、附属東雲中学校の生徒に代々受け継がれてきた伝統的な精神、心の礎としての「不動心」についてお話しします。不動心というのは、何事によっても揺れ動くことのない精神、心の礎を意味する言葉です。被爆八十年をむかえる今も、世界で戦争や紛争が続いています。あらためて、皆さん一人一人が、自他の「いのち・こころ・からだ」を尊重し、世界の平和を願い、実現するための不動心を築いてほしいと願います。

最後になりましたが、保護者の皆様にお願い申し上げます。保護者の皆様と私たち教職員とが、絶えず力を合わせ、本校を支えてくださる同窓会、教育後援会、東雲親の会、PTA、地域の皆様のご理解、ご支援、ご協力をいただきながら、「チーム東雲」「ワンチーム・ワン東雲」として新入生一人一人の自己実現・成長を見守って参りましょう。どうぞよろしくお願い申し上げます。

新入生の皆さんの、一層の健全な成長を祈念し、学校長の式辞と致します。

令和7年4月8日

広島大学附属東雲中学校長 永田 忠道